

日時：平成 19 年 3 月 5 日 (月) 18:30 ~ 22:00

場所：渋谷「八詩」

出席者 (敬称略): 1 永田、町田、牛場、2 氏家、湯浅、小谷、4 三矢、鈴木、6 長谷川、8 八尾、
真壁、9 内田、10 斉藤、11 塩谷、岩田、12 安田、13 品田、16 竹内、17 神島、
18 佐々木、19 大田、21 相澤、奥本、23 腰高、24 俵、26 杉浦、27 古川、34
坂上、35 小林、37 清水、42 酒井、46 森、現役 2 名 (都築・武田) 計 34 名

【報告事項】

1) 次年度会費納入について (腰高)

- ・ 今年度の最終的な会費納入状況について報告があった。その上で、各代の自動引き落としの手続きが不調な人に向けて、各代の幹事が連絡を取り、状況の確認を幹事会事務局 (腰高) に伝えるとともに、本年 4 月の引落とし実行率をさらに上げる努力をすることが要請された。
- ・ また、確信的未納者への対応 (各種サービス停止、名簿記載方法等) について意見があり、別途検討することが確認された。

2) 焚き火・SO (小谷)

- ・ OB 会による一連の活動に対して、特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・東京から、慶應義塾楽籠クラブにあてて、日頃の活動に対する理解・協賛・支援について感謝状が贈られた旨の報告があった。

3) 海外遠征について (坂上)

- ・ 記念文集「戯去戯来」が完成した (幹事会出席者には配布)。
- ・ 遠征事務局の 10 期小島さんから、遠征の収支報告書が提出された (別紙資料参照)。剰余金 20,153 円は、OB 会費に組み入れることとした (今回の予算案文書には未掲載)。

4) 50 周年記念行事収支報告書の監査結果報告 (品田)

- ・ 前回の各代幹事会で提出された最終収支決算報告書に基づき、全ての領収書を確認したとの報告があった。

5) 現役活動報告 (武田)

- ・ 春合宿の詳細と、一年間の活動予定、補助を受けるにあたっての予算の見積もりについて報告があった。
- ・ OB からは、新入生の勧誘に対する要望が相次いだ。

【協議・決議事項】

1) 「焚き火」の今後について (湯浅) * 別紙資料 (議題 1) 参照

- ・ まず、この 3 年間の活動状況とその結果についての報告があった。その上で、設立趣旨は存続し、位置づけ (衛星組織から内部組織へ) とスタッフ (2 期中心から中堅世代中心へ) とを一新して、組織自体を存続させる旨の提案があった。
- ・ 焚き火の精神という趣旨自体に異論はなかったが、議論となったのは以下の 3 点。

位置づけの問題

予算の問題

今後の進め方の問題

- ・ 活発な意見の交換があったが、最終的には以下のように収斂した。
位置づけについては、従来の外部組織から内部組織とする。
予算は従来の約束通り（焚き火の予算補助は3年間を期限としており、今年度はその最終年度にあたる）原則として今後はつけない。
従来の活動である「OB間の仲介」「都会小屋の創設」「楽籠市場」のいずれも、OB会の内部組織にする以上、新スタッフによる活動指針を提示いただき、幹事会にて議論するものとする。
- 2) 今年度会計報告について（清水）*別紙資料（議題2・3）参照
- ・ こちらは3/24の総会承認事項。
 - ・ 新規項目や予算案からの増額支出などについては、既に過去3回の各代幹事会で承認済み。
- 3) 次年度予算案について（清水）
- ・ こちらは本日の幹事会承認事項。
 - ・ 主な変更点は以下の通り。
会費の引き落とし状況の改善により、収入増加を想定している。
現役からの見積もりを踏まえて、現役活動補助費を減額した。
1月の各代幹事会の議論を踏まえ、エリアネットワーク（旧・地方活性化）は、補助金額の内訳を見直した上で増額した。
9月の各代幹事会の議論を踏まえ、SO支援の項目を新設した。
従来の「イベント補助」に含まれていたものを「予備費」として明確化した。
特別会計への繰入れについては、海外遠征継続議論はあるものの、前回遠征並の補助70万円の半額35万円を計上する。
 - ・ この文書に、海外遠征の残金（報告事項3）を収入に加える形で、全会一致で承認された。
- 4) 総会の内容について（古川）
- ・ 総会の議事および式次第については、例年と大きく変わる点はなし。報告担当者を確認した。
 - ・ 昨年総会で決議もれた、6期会友として森川征彦氏の入会承認を議題に入れる。

以上

2006 楽籠クラブ タイ遠征収支報告書

支 出				収 入				
内 訳	No.	費 目	内 容	金 額	内 訳	詳 細	金 額	
I 旅費・宿泊費	①	AIR	含空港税他	2,387,000	I 個人負担	OB負担	1,871,000	
	②	Hotel	含延長・キャンセル	1,038,960		奥様負担	1,350,000	
	③	バス代	大型1台	213,600		現役負担	990,000	
	④	昼食代	プリンス・ツインタワー	93,000	小計		4,211,000	
	⑤	夕食代	ココ・シャンガリラ・ソフン	353,400	II 寄 贈	1期 福島	20,000	
	⑥	交歓会	ノホテル・57名	196,650		2期 湯浅	10,000	
	⑦	前泊(学生)	成田ビュウH	47,800		5期 野原	10,000	
	⑧	保険(学生)	旅行保険	41,690		5期 山田肇	10,000	
	⑨	帰り空港税		53,475		5期 山田武	10,000	
	⑩	チップ	ガイド・ドライバー	31,050		6期 長谷川	20,000	
	⑪	飲物代	各夕食時	130,814		7期 高山	10,000	
	小計		4,587,439	10期 斎藤		20,000		
II 遠征諸経費	⑫	対戦校土産	2校、監督先生、コーチ	49,476		10期 恒川	10,000	
	⑬	Tシャツ作成代	100枚、(株)ジンナイ他	157,500		11期 岩田	20,000	
	⑭	企業訪問お土産	2社	6,300	16期 竹内	10,000		
	⑮	交歓会持込酒代	OB1人@3,000	33,000	17期 青木	20,000		
	⑯	寄贈者土産	送料宅急便含	27,242	5期 山口	10,000		
	⑰	壮行会不足分	みの屋	40,000	小計		180,000	
	⑱	ビデオ・写真編集	山宮3・写真代氏家他	50,000	III 楽籠OB会		700,000	
	⑲	文集印刷・編集	竹内・NDM	84,000				700,000
	⑳	現地岡本・通訳御礼	含む送料	24,000				
			通信費・振込料	8,740				
		焼増用 CD、DVD	3,150					
	小計		483,408					
III 収支差額		(楽籠OB会へ)		20,153				
				20,153				
	総計			5,091,000	総計		5,091,000	

H.19.02.09

上記のとおりご報告いたします。

遠征事務局 10期 小島豊彦

AMNET (アメニティネットワーク) 焚き火の今後について

楽籠 OB 会は近い将来[高齢化][肥大化]し、[資金不足]と[OB 会上下全体の繋がり弱体化]を招くことが懸念されることから、『その対策を我々 2 期が中心となって進めてみよう』と、以下 3 項を目標課題とし、3 年間を初期活動の目処に H 1 5 年「焚き火」を創設しました。そして企画実施を即断する必要性や営業活動を伴う事が予想されるなどのことから OB 会内でなく、会の衛星的組織として H 1 6 年春の総会で承認されました。目標課題は、

(1) OB 会の上下関係が疎にならないよう全ての OB 間のつながりを強化する。

まず [「OB 間の仲介役・お助けマン」AMNET 焚き火]設立から活動を開始。

更に地方 OB の活躍を紹介しながら全楽籠 OB が参加可能な[楽籠市場]実施。

楽籠 OB がいつも集まるたまり場[都会小屋]の創設構想。 など

(2) OB 会の資金不足に陥ったときこれを補う。

[AMNET 焚き火]が OB 会へ資金補助できるだけの収益を確保する。

(3) OB の高齢化に対処する。

高齢 OB に対しての精神的(活力ある生活)支援・金銭的(会合費の補助等)

支援をして、[いつまでも楽しい楽籠 OB 会]を目指す。

「焚き火」には 2 期だけでなく何人かの OB も加わり、課題 の「仲介相談事業」を柱に、および(2)(3)達成のための資金づくりを「楽籠市場」や「個別営業」等での収益に求め活動しましたが思うような実績を上げることが出来ませんでした。(実績別記)

これは、活動の仕方の問題かもしれませんが、結局 OB の中に考え方が深く浸透せず、理解者や協力者の幅を広げられなかったことが一因といえます。しかし、これ以上のことは現在の我々には時間的にも能力的にも無理がありました。

更に最近「単なる金儲けでは?」「OB 会を利用しているのでは?」等の疑問の声も耳にするにつけ、これ以上 2 期が主役となって活動すること自体が焚き火活動のマイナスになる、また 2 期自身も時間的余裕がなくなってきたので、活動の休止も視野に他の焚き火スタッフと相談した結果、『焚き火の活動主旨には賛同できるので、その主旨を受け継ぎ中心スタッフを中堅 OB に刷新し継続する』との結論を得ることができました。

新スタッフは前記の目標課題を活動目標とし(1)の ~ の担務を次の如くに刷新。即ち、 を OB 間無料カウンセリングとし[高山+ 。(登録名簿管理;長谷川+若手)], を[内田、竹内+ (経理上の問題の検討 小島・葛巻)], を[青木+]。そして【現在の AMNET 焚き火組織でなく、楽籠 OB 会組織内の活動と位置づける】ことを希望していますので、楽籠 OB 会皆様のご理解と承認をお願いいたします。

以上

2007年2月 2期 氏家:小谷:葛巻:湯浅

[AMNET 焚き火活動 3 年間実績] (2007/1/末 現在)

1、アムネット焚き火 (仲介相談事業)

相談者としての登録OB数	95件
個別相談件数	9件
主な相談内容	・コンサルティング依頼 ・講演会講師の派遣 ・販売ルート紹介相談 ・人材募集

* SO支援要請は「焚き火」経由でOB会活動となる

収入 2万円

2、楽籠市場

第1回	申し込み件数	21名	手数料収入	22,002円
第2回		39名		59,917円
第3回		32名		101,943円
第4回		33名		101,770円
第5回		33名		61,627円 (未収有)

3、3年間収支 (2007/1/31 現在)

単位：円

H16年度	収入	242,002	支出	94,819	収支	147,183
	OB会補助	200,000	印刷発送費	60,900		
			通信費	16,530		
			事務費雑費	17,389		
H17年度	収入	285,060	支出	302,491	収支	17,431
	OB会補助	100,000	印刷発送費	240,345		
			通信費	11,340		
			式典ポスタ	12,915		
			総会用酒代	22,860 (カワセン酒)		
			事務費雑費	15,031		
H18年度	収入	355,971	支出	265,305	収支	90,606
	OB会補助	100,000	印刷発送費	196,875		
			通信費	4,600		
			事務費雑費	15,599		
			SO熊本補助他	48,231		

H16年度～H18年度収支差額 220,418円

楽籠クラブOB会 会計報告 (平成18年度)

<一般会計>

(単位:円)

平成18年1月1日～平成18年12月31日

収入	予算	実績	支出	予算	実績	備考
前期繰越金	417,383	417,383				
年会費			楽籠大会懇親会費	100,000	100,000	夏・冬 各5万円
自動引落 234名	2,800,000	2,808,000	現役合宿補助	300,000	300,000	春・夏 各15万円
振込 他 10名	120,000	120,000	現役担当活動補助	100,000	100,000	就職ガイダンス・追コン
入会金 8名	80,000	80,000	現役補助(8期義援金)		50,000	H.18総会にて贈呈
受取利息		178	名簿印刷費	400,000	393,645	
8期義援金		50,000	機関誌印刷費	700,000	628,110	vol13.34
50周年剰余金		88,042	事務局経費	175,000	159,982	
			(内訳)			
			通信費 98,767			
			引落手数料 56,280			
			振込手数料 4,935			
収入計	3,000,000	3,146,220	ホームページ管理料	10,000	5,000	サーバー利用料
			三田クラブ年会費	47,000	47,000	
			地域OB会補助	300,000	450,000	H19.1.16幹事会承認
			イベント補助	100,000	50,000	97ers補助のみ
			銀杯作成費	96,000	91,770	45期:8名分
			還暦記念品	450,000	424,830	8期:15名分
			アムネット焚き火補助	100,000	100,000	(本年度最終)
			慶弔費用(生花代)	27,000	32,100	H.18総会前発生分を予算化
			「偲ぶ会」費用		150,000	H18.6.6幹事会承認
			SOコーチ派遣補助		30,000	H18.9.21幹事会承認
			SO寄付金		30,000	H18.9.21幹事会承認
			(小計)	2,905,000	3,142,437	
			当期剰余金	512,383	421,166	
			剰余金処分(案)			
			特別会計組入れ	100,000	100,000	
			次期繰越金	412,383	321,166	
合計	3,417,383	3,563,603	合計	3,417,383	3,563,603	

<特別会計>

収入	予算	実績	支出	予算	実績	備考
前期繰越金	1,139,735	1,139,735	海外遠征補助	700,000	700,000	
一般会計より繰入れ(案)	100,000	100,000	次期繰越金	539,735	539,735	
合計	1,239,735	1,239,735	合計	1,239,735	1,239,735	

楽籠クラブOB会 平成19年度予算案

<一般会計>

(単位:円)

平成19年1月1日～平成19年12月31日

平成19年3月19日

収入	予算	支出	予算	備考
前期繰越金	321,166			
年会費		楽籠大会懇親会費	100,000	夏・冬 各5万円
自動引落 260名	3,120,000	現役合宿補助	200,000	春5万円・夏15万円
振込 他 5名	60,000	現役担当活動補助	100,000	就職ガ・追コン 各5万円
入会金 8名	80,000	名簿印刷費	400,000	
		機関誌印刷費	700,000	年2回(vol135、36)
		事務局経費	195,000	
		(内訳)		
		通信費 120,000		
		引落手数料 70,000		
		銀行手数料等 5,000		
収入計	3,260,000	ホームページ管理料	5,000	サーバー利用料
		三田クラブ年会費	47,000	
		エリアネットワーク委補助	400,000	旅費31万円(2名)、補助7万円(@1千円)、予備2万円
		97ers補助	20,000	世田谷区民大会参加費
		銀杯作成費	96,000	@12千円x44期:8名
		還暦記念品	270,000	9期:9名分
		SO支援	30,000	枠内で活動補助・寄付を配分
		KIC創立50周年祝金	30,000	
		予備費	50,000	
		(小計)	2,643,000	
		当期剰余金	938,166	
		剰余金処分(案)		
		特別会計組入れ	350,000	
		次期繰越金	588,166	
合計	3,581,166	合計	3,581,166	

<特別会計>

収入	予算	支出	予算	備考
前期繰越金	539,735			
一般会計より繰入れ(案)	350,000	次期繰越金	889,735	
合計	889,735	合計	889,735	